

VN 指数は 1 か月ぶりの大幅下落

月曜日に VN 指数は 12 月 2 日以来の大幅下落に見舞われ、9.35 ポイント（0.97%）安の 955.79 ポイントで引けた。

ホーチミン市場では 251 銘柄が下落したの対し、上昇したのは 90 銘柄だった。

市場取引の売買代金は 2 兆 23 百億ドン（96.59 百万ドル）で、先月の 1 日あたり平均である 2.8 兆ドン（1 億 2,128 万ドル）を下回り、前日比でも 10% 近く減少した。

時価総額の大きい銘柄で構成する VN30 指数は 1.24% 安とさらに下落し、26 銘柄が下落したのに対し 1 銘柄が上昇し、下落した銘柄のうち 17 銘柄は 1% 以上の下落となった。

不動産デベロッパーの ROS は最も下落した銘柄で、6.9% 安と値幅制限いっぱいまで下落した。

資産規模で最大の銀行である VCB は 2.7% 下落した。他の大手銀行では BID が 1.9% 下落したが、CTG は銀行株の動きとは反対に 0.2% 上昇した。

ビンググループ（VIC）のリテール部門の子会社である小売の VRE は 2.7% 下落した。親会社の VIC は 0.7%、住宅用不動産デベロッパーの VHM は 2.1% 下落した。

民営の銀行では、TCB(2.5%)、VPB（2.2%）、HDB（2%）、STB（1.5%）などが下落した。

他の大型株では、海運・港湾サービスの GMD が 2.2%、食品大手の MSN は 1.6% 下落した。

上昇した銘柄では国営のエネルギー企業の GAS が 3.2%、中堅銀行の EIB は 1.4% 上昇した。

外国人投資家は 270 億ドン（117 万ドル）を買い越し、鉄鋼の HPG、VN30 指数に連動する ETF の E1VFN30 などに資金が向かった。

中小型株で構成するハノイ証券取引所の HNX 指数は 1.13% 下落し、未上場株市場の UPCOM 指数は 1.36% 下落した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正



確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。